

# 乳児ホーム るり



乳児ホームるり  
施設長 大西道裕

4月より平成26年度が始動し、人は微笑み若葉が笑う好時節となりました昨今でございますが、関係各位におかれましては、ご壮健の御事と拝察申し上げます。

おかげさまで、わが「乳児ホームるり」並びに「社会福祉法人心地」は健全な運営を致しておりますので、ご安心下さいませ。

さて、規則改革実施計画により、第三者評価受審の推進が盛り込まれましたので「乳児ホームるり」も2月に受審いたしました。

初めての試みの為、何から手を付ければよいのかわからず、試行錯誤しながら職員全体でマニュアル作りから取り組みました。

その第三者評価の結果報告書が届きましたので、下記通りご報告いたします。

- 1、乳幼児の養育支援において、グループを小規模化することにより養育者が1対1で関われる時間を増やし、スキンシップ、アイコンタクトを大切にした支援が行われ、愛着形成がより育まれている。と好評価を得ました。
- 1、「月末チェック表」を用いて子どもの最善の利益につながっているかを振り返っていることが良い。と好評価を得ました。
- 1、安全管理の面で地震・火災等災害に対する万全な対策と敷地内に井戸を掘り、地域への水の供給源としての地域社会に貢献が出来ている。と好評価を得ました。
- 1、親子関係の再構築の為の支援を子どもセンターと密に連携を取り、家庭支援専門員が中心となって、具体的なプログラムを作成し、実施していくようにと指導を受けました。
- 1、苦情解決の結果について、広報誌やホームページなどで公表等するように指導を受けました。

以上のような評価により、現場における更なる研鑽とその為の研修体制を整備し、職員のモチベーションを高めることにより、より質の高い養育に繋がりたいと思います。

今まで取り組んできた養育、食育、安心安全等に付いて、間違っていなかったと安堵しております。

第三者の評価を受審したことにより、運営方法と職員間の繋がりと共有意識がより深く持てるようになった事が良かったと喜んでおります。

今後共、「社会福祉法人心地」並びに「乳児ホームるり」にご理解とご支援をお願い申し上げます。





緑の美しい季節となり、乳児ホームるりの子ども達は様々な所へ出掛けています。春が来るのを待ちわびていたかのように、色とりどりの花々に囲まれながら嬉しそうな表情を見せて走り回る姿に、シャッターを切らずにはられません。子どもたちの選りすぐりの写真と共に、乳児ホームるりから素敵な春をお届けします。



4月初旬、みんなでお花見に出掛けました。ぽかぽか陽気の中、桜並木を見上げながらみんなでお弁当を食べ、芝生の上で元気に駆け回って春の訪れを楽しみました。



加西フラワーセンターへ出掛けました。見渡す限りのチューリップに子ども達は大喜び！「きれいね」と話す児や、ふわふわと飛び回るちようちよを「まてまて」と追いかける児など、思い思いに過ごしました。



たくさんのこいのぼりが空を泳いでいました。広い芝生の上を思い切り走り回ったり、こいのぼりのうたを皆で歌ったりと普段見ない光景に大はしゃぎでした。こいのぼりのように、元気にたくましく育ってくれますように。



## ナースだより～紫外線対策～

紫外線が多い季節と言えば「夏」というイメージがありますが、一番多い季節は5月から6月にかけてです。特に一番多い時間帯は午前10時～午後2時で、子どもの頃に受けた紫外線は大人になってから身体に影響が出てくると言われています。紫外線対策として、帽子はつばが7cmあるもので顔に当たる紫外線が60%カットでき、服の素材は編み目が詰まった綿やポリエステルが勧められています。また、日焼け止めクリームは2～3時間ごとに重ね塗りすると効果的です。これからの季節は、しっかりと紫外線対策を忘れず、外で元気に遊びたいですね。



## 乳児ホームるり 基本方針

- ・ 「人柄のよい子に育てよう」という目標のもと愛情を持って養育し、人間形成の基礎を培います。
- ・ 職員は自己研鑽に励み、チームワークを大切にし、同じ方向性を持って家庭的な養育を行います。
- ・ 地域のニーズに応じた子育て支援事業を推進します。
- ・ 常に安心・安全に気を配り、察知能力を養い、危機管理に努めます。
- ・ 保護者との連携を密にして、親の問題状況の解決や緩和を目指し、包括的な取り組みを行います。